

目次 Contents

- 02 特集 選挙について考えよう
 - 情報ひろば
安全安心 7、事業所 7、暮らし 10、健康 11、障がい者 12、高齢者 13、子育て 14、税金 18、保険年金 19、パブリックコメント 21、就労 22、催し・講座 24、スポーツ 28、募集 30、その他お知らせ 30、相談 31
 - 情報ピックアップ
奥河内観光写真コンクール結果発表、新保健センターを建設開始、子ども・わかものコミットメントサイト「つなぐ」オープン
- 12 シリーズ人権
- 15 市長コラム
- 16 フォト特集 成人のつどい晴れやかに
- 20 Photo News まちの話題をお届けします
- 21 奥河内ごちそうレシピ
- 32 かわちながの 働ライフ ㊟

掲載情報の見方

対象に明記のないものは市内在住・在学・在勤者が対象▶
催しなどで費用の記載のないものは無料▶申し込みが必要な催しなどの持ち物は主催者からの連絡などで確認を▶
先着順の申し込みで時間の記載のないものは午前9時から受付▶
申し込み・問い合わせなどで住所・電話番号の記載がないものは市役所へ（業務日・時間は月～金曜日午前9時～午後5時30分、祝休日・年末年始を除く）
●環境への配慮から、催しなどへの来場はできるだけ公共交通機関のご利用を。

くろまろ塾の認定講座や催しはこのマーク
今後の予定など詳しくは市ホームページをご覧ください。



市の人口・世帯数12月末日現在（カッコ内は前月比）

人口	男	女	世帯数
104,562(-128)	49,358(-69)	55,204(-59)	47,469(-29)

市役所：河内長野市原町一丁目1番1号
※郵送の場合は〒586-8501（住所不要）
☎ 53-1111（代表）

特集

選挙について考えよう

選挙権使ってる？

選挙は「民主主義の基本」と言われています。

しかし投票率は年々低下し、昨年の参議院選挙の

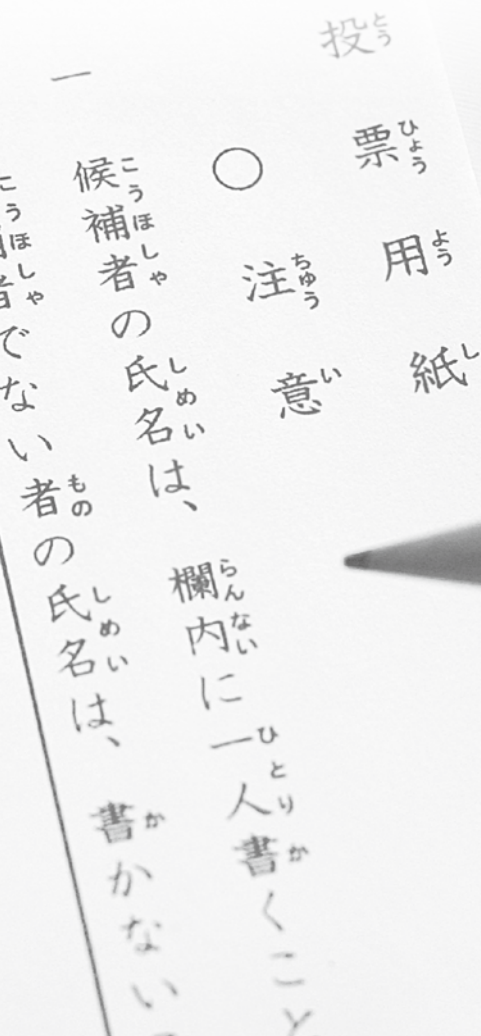
全国の投票率は50%を割る低い投票率となりました。

その中でも、特に10歳代から20歳代の投票率の低さが顕著です。

選挙権は自分たちの代表を選ぶ大切な権利。

一度立ち止まって、選挙の大切さについて考えてみませんか。

問い合わせ 選挙管理委員会事務局



未来への一歩



選挙啓発4コマ漫画

大阪芸術大学短期大学部の林日出夫准教授の指導のもと、同短大生の岩本彩乃さんが選挙について描きました。

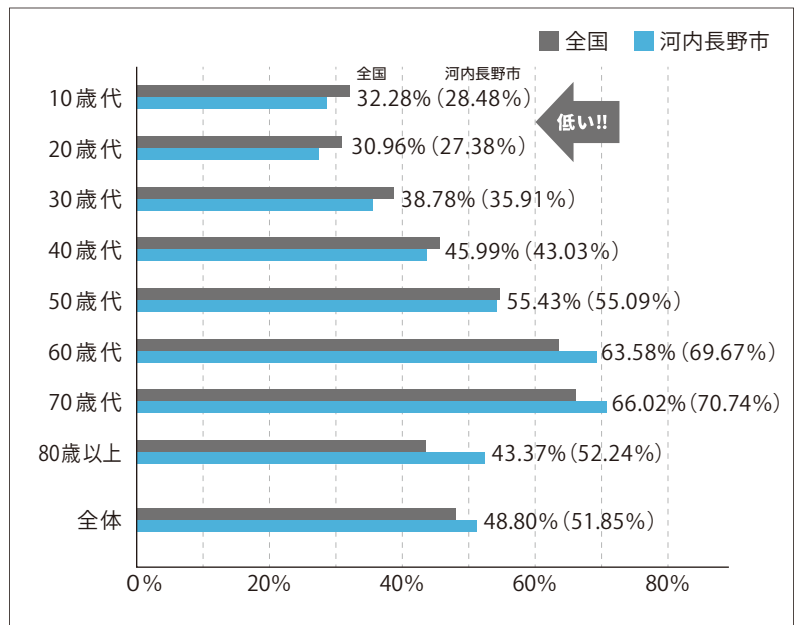
今後、社会保障への支出などが拡大する中で、負担を引き受けることになるのは、現在の若者やこれから生まれてくる世代です。

未来を担う10歳代20歳の投票率が低いままでは、人口が多く投票率も高い高齢者の意見が反映されやすく、若者に向けた政策を政治家から引き出すことはできません。

投票率の現状 10・20歳代が低い

昨年7月に執行された参議院議員通常選挙は、総務省によると全体の投票率が48・80%でした。これに対し18歳から19歳の投票率は32・28%でした。また20歳代は30・96%、30歳代は38・78%となっています。他の年代別投票率は下のグラフのとおりです。

選挙権は平成28年6月から18歳以上に拡大されましたが、総務省（18歳選挙権に関する意識調査）によると、18歳から20歳の有権者が投票に行かなかった理由として、「いま住んでいる市町村で投票できなかったから」「選挙にあまり関心がない」「投票所に行くのが面倒」といった理由が並んでいます。高校を卒業すると就職や進学などで地元を離れることも大きな理由のようです。



年代別投票率（令和元年参議院議員通常選挙）

選挙で 存在感を

若者が投票しないと
高齢者向けの政策
ばかりになってしまう？

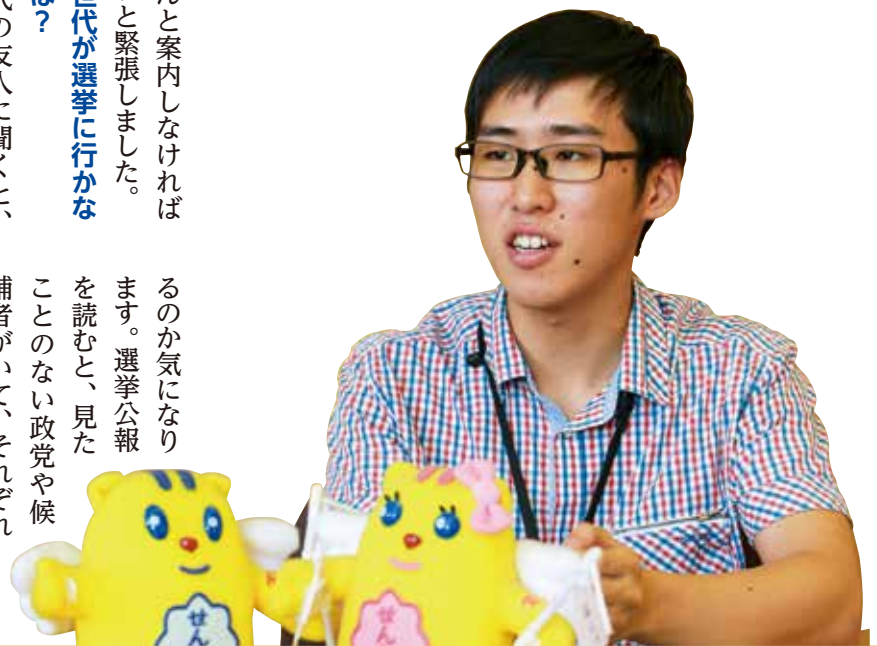


Interview with young people

投票してみても一票の重みを実感できました

選挙事務アルバイト

ジョージアン大学1年生
井野 敬太さん



—どのようなきっかけで選挙事務アルバイトを？

私は今、カナダの大学に通っています。ニュースで日本の若者の投票率が低いことを知り、なぜ投票率が低いのか実際に選挙の仕組みを学んでみようと思い、夏休みで長期帰国中に、選挙事務のアルバイトに応募しました。

—どのような仕事を担当しましたか？

名簿対照や残票の整理、入場整理券の発送などを経験しました。お年寄りの点字投票を受け付けたときは、絶対にミスが許されない中

でちゃんと案内しなければならぬと緊張しました。

—若い世代が選挙に行かない理由は何？

同世代の友人に聞くと、「興味がない」、「忙しい」、「面倒くさい」、「どうせ無駄」という理由で投票に行かない人が少なくありません。若者に訴えかける公約が少なく、興味を持っていないのが実情だと思います。

—どうすれば若者が選挙に行くでしょうか？

今回、初めて投票して一票の重みを実感しました。投票してみると、投票後は、当選者がどんな活動をしている

のか気になります。選挙公報を読むと、見た

ことのない政党や候補者がいて、それぞれ

が様々な公約を掲げていました。候補者は、経済成長や教育充実などがどのように若者にメリットがあるのか、SNSを使って若者の心に響くような言葉で、親しみやすく語りかけてほしいです。

—井野さん自身は今後も選挙に行きますか？

機会があれば海外からでも投票できる在外投票にも挑戦したいです。

投票制度いろいろ

選挙は、投票日に所定の投票所で投票することが基本ですが、当日行けない人のために、様々な制度が設けられています。



こんなの知ってた？

●期日前投票制度

投票日当日に仕事や旅行、冠婚葬祭などで投票に行けない人のために、投票日前であっても投票日と同じ方法で投票できます。

●不在者投票制度

選挙期間中、本市以外に滞在している市区町村から投票できます。

●指定施設に入院・入所中の人のための不在者投票制度

指定の施設に入院・入所中の人は、その施設内で不在者投票ができます。

●郵便等による不在者投票制度

身体障がい者手帳、戦傷病者手帳、介護保険の被保険者

証をお持ちで、一定の要件を満たす人は自宅などで投票できます。

●在外選挙制度

外国にいても衆議院議員選挙と参議院議員選挙の投票ができます。投票のためには「登録申請」が必要です（詳しくは市選挙管理委員会にお問い合わせください）。

●子どもは18歳未満まで投票所に同伴できます

現在、投票所に同伴できる子どもは18歳未満に拡大されています。子どもたちが選挙に関心を持つ機会になればと期待されています。

私も社会の一員になれたような気がしました

参議院議員選挙投票立会人

関西学院大学1年生
福居 美里さん



—なぜ立会人に興味を？

法律に興味があり、公職選挙法や選挙事務の現場を学びたいと思い、広報紙で見かけた投票立会人に応募してみました。

—やってみて、どのような学びになりましたか？

立会人は投票が公正に行われているかを見守る重要な役割です。そんな選挙の仕組みを実際に見ることができ、社会の一員として貴重な経験になりました。今後の大学での研究や就職にも活かせそうです。

—投票はしましたか？

18歳になり、初めての選挙を経験しました。まずは

新聞で選挙に関する記事を読み、興味のある政党を探しました。その後、ネットで立候補者の情報を検索して、自分の考えに近い候補者に投票しました。

—若者は選挙にどんなイメージを持っていますか？

私も含め、普段は政治に強い関心がなく、投票をめんどくさいと感じるのが正直な感想です。しかし、すべての若者が無関心というわけではありません。選挙だけのためでなく、通勤・通学や買い物など、何かのついでに気軽に投票できれば、もっと多くの若者が投票に行くと思います。

—今年から三日市町駅前でも期日前投票ができるようになりましたね

私も三日市市民ホールの日日前投票所で投票立会人を務めました。日ごろから電車を使う人やフオレスト三日市で買い物をする人には便利だと思います。期日前投票がもっと浸透すればいいと思います。

—福居さん自身は今後も投票に行きますか？

はい。将来は裁判官になりたいので、物事を公平に判断できるように、世の中のことを考えていかなければと感じています。

さあ、若者よ 意思表示を！ その一票が未来を変える

政治や選挙は決して他人事ではありません。日ごろから、国・府・本市の政策や取り組みについて知り、選挙の際には、テレビや新聞などの報道で情報を集め、候補者・政党のホームページや街頭演説、政見放送などで政策や主張をよく確かめて、投票に行きましょう。

●選挙公報

選挙管理委員会が配布する「選挙公報」には各候補者が訴えたいポイントがまとめられています。

※市の選挙では、立候補届出日（告示日）に候補者が提出した原稿を、午後5時の届出締め切り後に行うくじで決める掲載順により翌日に印刷します。そのため、各世帯への配布期間は、告示日の翌々日から約4日間となります。国や府の選挙の場合は、府選挙管理委員会が印刷し、市に納品後に配布するため、配布開始が告示日から1週間以上遅くなる場合があります。配布前に期日前投票に行く場合は、市や府のホームページに掲載される選挙公報、または、期日前投票所に配置される選挙公報をご覧ください。

7月には市長選挙

●河内長野市長選挙

自ら市長を選び、自分の意見を示す貴重な機会です。ぜひ投票に行きましょう。

●7月12日(日)に投開票

今年8月2日に任期満了となる河内長野市長選挙の日程が決まりました。

告示日 7月5日(日)

投票日 7月12日(日)午前7時～午後8時

●立候補予定者説明会

とき 5月8日(金)午後1時30分～

ところ 市役所

※立候補予定者1人につき3人まで入場できます
▷立候補の届出は告示日の午前8時30分～午後5時に市役所へ。

問選挙管理委員会事務局



の投票率は約30%でした。
家族と一緒に投票に行くなどして、親が自分の考えを率直に話せば、反発にせよ、賛同にせよ、自分で考える機会になるのだと思います。

まずは 大人が投票を

明るい選挙推進協議会
会長 池西裕二さん

―これまでどんな活動を？

選挙啓発活動に参加して20年以上になります。当初は公職選挙法違反の防止や三ない運動（贈らない・求めない・受け取らない）に関する活動が中心で、投票率も7割を超えていました。その後、投票率が下がり、投票を呼びかける運動が重視されるようになりました。特に若者には、高校での出前授業やポスターコンクールなどを行っています。

―選挙権の18歳への拡大から3年以上になりますね

今は満18歳から投票できますが、参議院選挙では10歳代

―クールな今どきの若者に通ずるでしょうか？

私は青少年指導員として若者の健全育成活動を支援しています。キャンプなどで孫のような彼らと話してみると、ユースで見たことを話してくれますが、テレビやインターネットに影響されてか、ステレオタイプでストレートすぎる気がします。「フィルターバブル」といわれますが、自分と似た意見を持つ人同士で固まり、他の情報は遮断してしまいう傾向があるようです。

―大人として選挙に向けて何ができるでしょうか？

まずは、私たち親世代が必ず投票所に行き、投票すること。これが若者の投票率を上げる近道かもしれません。

最近候補者と顔を合わせる機会も少なく、政治や選挙へ

の親近感が失われつつあるように感じます。私たち明るい選挙推進協議会も、若者の意見を取り入れた活動を展開するなど、公正中立な立場から参加団体を通じて活性化したいと考えています。

公正中立な立場から 明るい選挙推進協議会

関係団体から推薦を受けた人や選挙管理委員補充員など約30人で構成され、様々な啓発活動を行っています。期日前投票所の投票立会人やポスターコンクールの審査員を務めるほか、市の選挙前には駅前などで、ポケットティッシュなどの啓発品を配り投票を呼びかけています。



市選挙管理委員会では

●出前授業

明るい選挙推進協議会と協力して、毎年、市内の高校や専門学校で出前授業を実施しています。クイズなどを交えて楽しく選挙制度を学んでもらうとともに、実物の記載台や投票箱などを使って模擬投票を体験してもらっています。

●期日前投票所を増設

昨年4月の選挙から、三日市町駅に直結したフォレスト三日市3階にある三日市市民ホールに期日前投票所を増設しました。通学・通勤の際に

もお立ち寄りいただけます。

●若者の投票立会人登録制度
若い世代（18歳～29歳まで）を対象に、投票立会人を募集・登録しています。

●SNSで選挙情報を発信
市役所フェイスブックページで、選挙に関する情報を発信しています。

●投票所のバリアフリー化
各自治会の協力で、靴のまま入場できる投票所は全42か所のうち33か所、簡易スロープなどで段差のない投票所が39か所あります。

寄附は禁止

徹底しよう三ない運動

公職選挙法に基づき、選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは禁止されています。また、有権者が政治家に寄附を求めることも禁止されています。

政治家は
有権者に寄附を
贈らない

有権者は
政治家に寄附を
求めない

政治家から
有権者への寄附は
受け取らない